

緑の相談所だより

編集・発行

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

No.93

発行日 平成17年 4月 1日

講習会のご案内

春の園芸作業

と き : 4月10日 日曜日 午後1時30分 ~ 3時30分

講 師 : 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光

定 員 : 50名

庭木の選び方と植え方

と き : 4月24日 日曜日 午後1時30分 ~ 3時30分

講 師 : フラワーマスター 佐藤 文男 さん

定 員 : 50名

バスケットにお花を摘んで

と き : 5月8日 日曜日 午後1時30分 ~ 3時30分

講 師 : 柳川押し花 谷口 燐子 さん

定 員 : 30名

教材費 : おとな 500円 こども 300円

持ち物 : ハサミ ピンセット

土の診断と植物の育て方

と き : 5月22日 日曜日 午後1時30分 ~ 3時30分

講 師 : 緑の相談所 相談員 芝山 一雄

定 員 : 50名

お問い合わせ・お申込み

電 話 (0 1 6 6) 6 5 - 5 5 5 3 旭川市緑の相談所まで。

定員になりしだい締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
植物の育て方などにつきましてはお気軽にご相談ください。

クリスマスローズ

キンボウゲ科 ヘレボルス属 Helleborus

一般的にクリスマスローズとして店頭に売られているのは、無茎種の実種を多様に組み合わせで交配した園芸品種です。品種名はオリエンタリス・ハイブリダス（または、ヘレボリス・ヒブリダス）と呼ばれ、花に見えるのはがく片ですが、花形は丸弁、剣弁、八重咲き、カップ咲きで色は白、黄、緑、覆輪など多彩です。名のとおりクリスマス頃に咲く冬咲き種と春咲き種の2種類ありますが、早春咲きのオリエンタリス・ハイブリダスを含めて「クリスマスローズ」と呼ばれて流通しています。これらは品種の差もありますが、旭川でも野外で越冬して5月上中旬に開花しています。

特 性

原産地は地中海沿岸から東ヨーロッパ、トルコが多く、北緯40から50度に集中しています。自生地の気候は日差しが柔らかく、夏の平均気温が20度位と涼しく、降水量も少ないので、旭川近辺の気候は適しているようです。

植え場所

乾燥を好むので、排水の良いところに植え、水はけが悪い場合は火山礫を多めに入れたり、高畝にして植えます。またアルカリ性を好むので石灰などで矯正し、弱アルカリ性の土にします。生育は半日陰を好むため、真夏の強い光には寒冷紗などの遮光が必要です。

鉢植えも同様ですが、野外で十分寒さに当てて11月頃に室内へ入れ、10月前後の日の当たる涼しい場所で管理しましょう。花後も同様に涼しい場所において新芽の伸長を抑えます。

展示室の植物たち シリーズ「1」

ブーゲンビレア オシロイバナ科ブーゲンビレア属

【 温室の壁をところ狭しと蔓を伸ばす鮮やかな花、4月頃が見どころ 】

原産地は中南米の熱帯地域の常緑つる性小高木です。太陽光線が大好きで半日以上の直射日光が必要です。温室で咲き誇った赤い花は来館者を一瞬、南の島に誘ってくれます。

この花は3つの花が集まったといわれます。花びらのように見えるのは葉の一種で苞（ほう）と呼ばれるもので、その中にガク片が筒になりその先に本当の白い花があります。花色は赤、黄、ピンクや白があり一重や八重咲きなど種類が豊富です。

最近では園芸品種として流通し、ご家庭で育てられる方も多くなりました。育て方は日当たりの良い場所で控えめの「水やり」がコツです。

4月の園芸作業

1 鉢花（草花）類

シクラメン、サクラソウ類は下旬ごろからベランダに出し、夜間凍らせないように注意しましょう。

夏花壇用にアサガオ、アスター、マリーゴールド、ペゴニア、ペチュニア、インパチェンス等は上旬に鉢等に種をまきましょう。

土が乾いたら1平方メートル当たり苦土石灰を200～300グラムまいて数日置き、堆肥を2～4キログラム散布し耕しましょう。

チューリップやスイセン等は雪が消えると直ぐに芽が出ます。土が乾いたら球根の周りに油粕、化成肥料を1平方メートル当たり各50～60グラムまきましょう。

2 花木類（温室性）

アザレア、フクシャ、ハイビスカス、ブーゲンビリア等は生長に合わせ水やり回数を多くする。肥料は置肥と液肥を併用する。液肥は1,000倍で週1回、1500倍で週2回与えましょう。

3 観葉植物類

日中は暖かくても夜間は温度が下がるので最低温度に注意し、朝10 前後まで下がる場合は水やりを控えましょう。

ハダニやオンシツコナジラミの防除は葉の裏にスプレーで霧吹き等してよく水洗いしましょう。

4 多肉植物・サボテン類

だんだんと日差しも強くなりますので日当たりの良い窓辺に置いて水やりを行い、肥料も与えましょう。

クジャクサボテンは花が終わった株もこれから咲く株にも水と肥料を十分に与え、茎の上部から伸び始めた新芽は摘み取りましょう。

5 洋ラン類

シンビジウムは日当たりの良い場所に置き、デンドロビウム・ノビル系は徐々に日光に慣らすようにしましょう。

カトレア、コチョウランはレースのカーテン越しに置き日焼けを防ぎましょう。

水やりは乾いたらたっぷり与え、液肥は開花株以外のものには週1回、1000～1500倍に与えましょう。

5月の園芸作業

1 鉢花（草花）類

アサガオ、ケイトウ、コスモス、サルビア、センニチコウ等多くの草花の種を花壇にまく場合は、それらの発芽温度は15～25 位なので地温が確保される5月下旬頃からまきましょう。

ダリア、カンナは地温が10 以上でないと発芽しないので、花壇の植込みは5月下旬～6月上旬に行いましょう。

室内にあったアマリリス、ロドヒポキシス等花が終わったものや咲かないものも日当たりの良い場所で育てましょう。

2 花木類（温室性）

水やりは朝8～9時頃にたっぷり与え、夕方は徒長するので避けましょう。

ハイビスカス、フクシャ等は液肥の回数を増やしましょう。

ペラルゴニウム、フクシャ、エニシダ等は戸外に出し、出す場合は曇りの日が雨天等湿度の高い日を選んで出す。外気に慣れるまでは水は少なめにし、肥料は中止し日陰に置きましょう。

3 観葉植物類

葉焼けを防ぐ為春の強い日差しに注意し、レースのカーテン越しに置きましょう。

新芽が伸び出した株には液肥を与えましょう。

間延びした枝は切り戻し、切った茎はさし木しましょう。

4 多肉植物・サボテン類

クジャクサボテン、シャコバサボテン、アロエ、クラッスラ等は慣らしながら戸外の日当たりの良い場所に出し、水やりと肥料は草花と同じように与えましょう。

5 洋ラン類

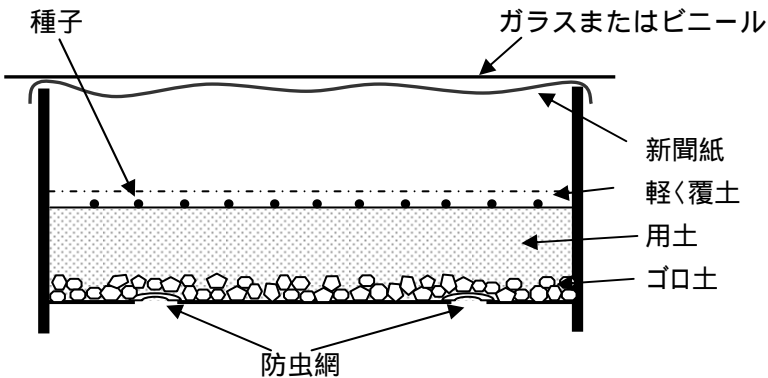
シンビジウムを戸外に出す前は、液肥（5 - 10 - 5）の1000倍液を10日に1度与えて積極的に肥培管理しましょう。

シンビジウムの芽は1～2月頃の新芽（1バルブにつき1芽）を確実に残し、その後発生する新芽はかき取りましょう。

花壇用草花苗の育て方

春の息吹が感じられる頃となりましたが戸外ではまだ肌寒く種をまくには早すぎます。しかし、夏花壇等に自分で育てた草花の苗を使おうと思えばこれから居間等の窓際を利用して育てたいものです。

- * 用 土
肥料分を含まない清潔な土
配合例
赤玉土 → 4
ピートモス → 3
バーミキュライト → 3
(市販の種まき用土等も良い)



* 主な草花の発芽温度

温 度	草 花 名
2 0 ~ 2 5	ペチュニア・ペゴニア・サルビア・コリウス・インパチェンス ケイトウ・ニチニチソウ 等
1 5 ~ 2 0	マリーゴールド・アゲラタム・アリッサム・キンギョソウ ダスターミラ・(シロタエギク)・コスモス 等

* 発芽後の管理

- ・ 温 度 ~ 日中 2 5 以下、夜間 1 5 以上に。
- ・ 水やり ~ 用土の表面が白っぽく乾いたら与えましょう。
- ・ 置き場 ~ 発芽後は窓辺で日光に良く当て、もやし状の軟弱苗にしないように注意しましょう。
- ・ 肥 料 ~ 本葉が出た後と仮植え活着後、液肥 (2 0 0 0 倍液) を 1 週間に 1 回水やりの時に与えましょう。
- ・ 間引き ~ 本葉が出る前に間引き、本葉 1 ~ 3 枚位の時に移植しましょう。
と仮植 (移植床は素焼浅鉢か、バット、発砲スチロールの空き箱等)
- ・ 移植床 ~ 配合例 (赤玉土 6 : 腐葉土 4) (赤玉土 7 : 腐葉土 3)
用 土 (市販の培養土でも良い)
- ・ 定 植 ~ 晩霧に注意して夜の防寒に心がけましょう。苗の大きさは、第 1 花の開花を目安にして植えると良いでしょう。